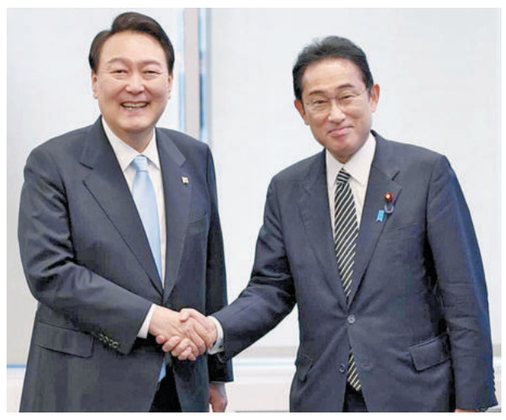

MINDAN
民団新聞

在日本大韓民国民団 機関紙
民団新聞社　発行人　呂健二
発行所：〒106-8585東京都港区南麻布1-7-32
TEL 03(3454)4611　FAX 03(5419)7555
郵便振替口座 00160-6-52652
ソウル事務所：〒04538 ソウル特別市中区明洞3ギル6
開洋ビル16階1603号
TEL 02(734)1164　FAX 02(734)1185

在日本大韓民国民団 綱領
一、우리는 大韓民国의 国是具現을 期한다.
一、우리는 在日同胞의 人権擁護를 期한다.
一、우리는 在日同胞의 経済発展을 期한다.
一、우리는 在日同胞의 文化振興을 期한다.
一、우리는 日本地域社会의 発展을 期한다.
一、우리는 世界平和와 国際親善을 期한다.

購読および広告掲載の申込み・お問い合わせ
TEL 03(3454)6375 FAX 03(5419)7555
公式サイト・スマホでも民団新聞が閲覧できます
公式サイト mindan.org
民団新聞 mindan.org/news
電子紙面 mindan.org/newspdf.php

金日成に人身御供

還暦祝し朝大生200人

「朝総連の歴史的罪科」検証

北韓当局と朝総連による北送責任を問う「歴史検証シンポジウム」（写真）が9日、東京・港区の韓国中央会館で開かれた。今回は朝総連が金日成還暦（72年4月）の食卓に〝生の朝貢品〟として捧げた朝鮮大学校生約200人の問題を取り上げた。主催した民団中央本部は朝総連の歴史的罪科を検証し、人権問題として世論を喚起することで、北送同胞を1日も早く悲惨な状況から解放したいと話している。

民団中央「北送」63年シンポ

金日成は72年4月15日が満60歳の還暦。朝総連は祝いにと独自に選抜した朝鮮大学校生約200人を60人のオートバイ部隊とともに「社会主義建設の先鋒隊」として献上した。朝総連は各級機関や学校、地域単位で前年の71年から金日成に対する忠誠の贈り物キャンペーンを繰り広げてきたが、この「生の朝貢品」こそ最大のハイライトだった。

朝鮮大学校で政治経済学部の教員を務めたことのある朴斗鎮さん（コリア国際研究所所長）は、「200人部隊についてはある程度の輪郭が出てきた」として次のように基調報告を行った。

選別作業は71年12月末、学生の帰郷直前のことだった。担当教官が大学構内の小部屋に300人を個別に呼び出し、伝えた。翌年の初頭、このうちの100人は逃げ出した。

大学側は残った200人にエリート意識を植え付け、徹底的に洗脳した。殺し文句は「金日成総合大学に入れる」だった。ほとんどの学生は疑うことはなかったが、それでも15人が脱落。最終的に185人が新潟港から出発し、二度と大学に戻れることはなかった。なかには強制収容所に送られたケースも多かったようだ。このことは北韓を訪れた朝鮮大学校の教員が直接確認したと伝えられている。

被害者からすれば「帰還」、「移住」であり、本質は「北送」だった。朴所長は「金日成個人に貢ぐために一切外に知られることなく、思いどおりにだまして連れていった点で詐欺行為だった」と朝総連の責任を改めて断罪した。

同じくパネリストの山田文明さん（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会名誉代表）は「62年ぐらいまでは熱気のなか、たとえ虚偽宣伝に踊らされたとしても、自分の意思で北に渡ったといえるが、朝大生は違う。朝総連の組織的強制力があったという点で大規模な拉致事件だった。拉致被害者の救出に本格的に取り組まなければならない」と訴えた。

シンポに先だってヤン・ヨンヒ監督が北に渡った兄3人と自身の家族たちのことを撮った「かぞくのくに」（2012年）が上映された。ヤン監督の長兄も金日成に「プレゼント」された185人のうちの1人だ。

北韓の内部事情語る

脱北外交官　太永浩国会議員

民団中央主催

韓国の与党「国民の力」に所属し、韓日議員連盟のメンバーでもある太永浩国会議員が15日、東京・港区のホテルで時局講演会に臨み北韓の知られざる内部事情を語った。民団中央本部が主催。

太議員は南北統一について言及し、「できる」と断言した。その理由として韓国の映画やドラマに精通している1981～2010年生まれの「MZ世代」が北韓で成長してきていることを挙げた。この世代は個人の価値観を尊重し、未来よりも現在を大切に生きるという特徴があるという。

太議員は「核心階級の子弟が公の場で人目はばからず抱擁しあい、金日成主体思想の塔が見下ろす川でヨットを借りてワインを飲んでいる。私たち旧世代とは違う教育を受けた世代が育ってきた。彼らは『トンム』とは言わない。日常的に韓国での言い回し『いい朝ですね』を使う。彼らが成長して指導階層に育った時、統一が達成されるであろう」と展望した。

講演する太永浩国会議員（都内のホテル）

太議員は北韓の外交官として英国で大使に次ぐナンバー2の公使を務めていた2016年に脱北した。3万3000人とされる韓国在住の脱北者については「安定して暮らせるようにすること、成功ストーリーをつくり続けるならば北韓は崩壊する」と言い切った。

北送犠牲者を追悼

市民団体　新潟中央埠頭で献花

両親、兄を偲び慟哭するカン・ボンスンさん（右）

【新潟】北韓から日本に戻ることなく、失意のうちに亡くなった北送同胞らを悼む式典が14日、新潟市内の新潟中央埠頭で営まれた。北韓の人権問題に取り組む新ボトナム会、NGOモドゥモイジャなど4団体が共催した。

この日は在日同胞とその日本人妻975人が第1船に乗船した1959年から63年目にあたる。

朝から強風が吹き荒れる悪天候のため、プログラムを簡略化。参加者全員で黙とうし、代表者数人だけが海に献花した。

2003年に北送から44年ぶりに脱北、翌04年に生まれ育った日本に戻ってきた在日2世の川崎栄子さん（新ボトナム会代表）は「生きて日本に戻ったからには、北朝鮮の人権と自由往来の実現をめざしてこれからも闘う」と決意を新たにしていた。北韓には14人の家族を残すが、いまだに安否確認すらできていない。「胸の中に血の涙が落ちてくる」と心境を明らかにした。

カン・ボンスンさんは60年代初頭、父母と8歳の兄ともども北送船に乗船した。北韓は「地上の楽園」どころか「地獄の国」だったという。精神に異常をきたしたり、自らの手で命を絶った元在日同胞たちの姿を目にしてきた。脱北したいまは韓国で暮らし、NGOモドゥモイジャ韓国事務局長を務めている。

カンさんは波打ち際に立ち、「ついにあなた方が懐かしがっていた新潟へ帰ってきた。今日の荒波は北に渡った9万3340人の怒りを表している」と追悼の言葉を述べた。

追悼式に先立つ13日、新潟市内のホテルでフォーラムを開き、脱北者5人が北韓政府を相手取って計5億円の損害賠償を求めて東京地裁に提訴した訴訟の判決について振り返った。

五十嵐章裕裁判長は3月、原告の訴えこそ退けたが「虚偽の宣伝で渡北させたのは不法行為」と、原告側の一部主張を認めた。講演した山田文明さん（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会名誉代表）は「一審判断は希望の光」と述べた。

在日弱者に寄り添う

「生活相談センター」で再確認

2022全体会議

今年１年の活動を振り返る金昭夫所長（左）

「みんだん生活相談センター」（金昭夫所長、民団中央本部内）は16日、東京・港区の韓国中央会館で各地の地方センター関係者同席のうえで「2022全体会議」を開いた。

中央からの報告によれば、今年1月から11月末時点の相談件数は649件。12月末までには700～750件に迫ると予想しており、ようやくコロナ前の水準に戻りつつある。また、3年ぶりに「本国セミナー」を開催し、関係機関と紐帯を確認できたことも成果として強調した。来年は夏の開催をめざしている。

香川など複数の地方センターからは「民団の認知度が上がった」との知らせが届いた。富山は相談件数が昨年の2倍近くに増えたと明らかにした。大阪は第1、第3水曜日を「夜間相談日」とし、昼間に相談に来られない団員からも好評を得ているという。今後は休日開設を検討中だ。民団秋田本部でも来年からの開設をめざしているとの報告があった。

金所長は大阪の取り組みを特に評価しながら、生活相談センターの存在意義は「在日同胞弱者に寄り添い、その悩みを解決してあげることだ」とあらためて強調した。

会議には専門相談員を含め34人が参席した。

ハンセン病施設慰問

民団岡山　婦人会と共同で

【岡山】民団岡山本部（金成植団長）は15日、瀬戸内市の国立ハンセン病療養施設長島愛生園と邑久光明園を慰問した。

コロナ禍とあいまって民団から金学事務局長、婦人会岡山本部（金愛子会長）からは金会長ほか3人だけに限定した。長島愛生園では同胞10人が療養生活を送っているが、高齢化が進み、面談できたのは男性1人（80）だけ。

金局長は「心配ごとがあればいつでも電話して」と呼びかけた。光明園では入所の婦人3人が民団からの訪問を喜んでいた。

両園の同胞たちには民団中央本部から寄託を受けた歳末慰問金が手渡された。

邑久光明園の同胞を訪ねた婦人会役員（左）

団員の安否確認

市内を家庭訪問

民団鳥取本部

【鳥取】民団鳥取本部（黄龍也団長）は師走を前にした16日、鳥取市内の団員宅を家庭訪問した。安否確認を兼ねた面談は年末の恒例行事。今年はささやかな手土産としてトックを持参した。

安乙仙さんは数え98歳の独り暮らし。薛幸夫常任顧問が玄関口で声をかけると、2畳ほどの部屋から元気な顔をのぞかせ、「おまえのオモニが早く死んだから、寂しいわ」と応じた。しばらくの間、会話は途切れることがなかった。

まもなく80歳を迎える黄梅子さんも膝を悪くしていて、市営住宅で独り住まい。玄関ドアにクリスマスの花輪、室内も花で飾られているのを見た薛常任顧問は安堵した様子を見せた。

独り暮らしの団員にトックを手渡す薛幸夫常任顧問

「故郷の家」にトック

婦人会兵庫　今年も欠かさず

【兵庫】婦人会兵庫本部（崔和代会長）は16日、神戸市長田区の特別養護老人ホーム「故郷の家・神戸」（松下良平施設長）を訪れ、トック30㌔を贈った。崔会長と李慶子常任顧問、李貴連顧問も同行した。

松下施設長は「いただいたトックは、他の故郷の家にも配っており、お年寄りたちも大変喜んでいる」と謝意を述べたのに対し、崔会長は「皆さんに喜んでもらえてうれしい。いつまでも長生きしてほしい」と語った。

現在、在日の割合は3割弱で特養には58人が入所している。

この日は同本部会館に隣接している神戸定住外国人支援センター（金宣吉理事長）が運営するグループ「ハナ」（神戸市長田区）も訪問し、森佳緒里施設長に同本部会館婦人会室でトック15㌔を手渡した。

「故郷の家・神戸」にトック30㌔を届けた婦人会兵庫本部

SOL × GUDETAMA　明るい未来へ！モア⁺キャンペーン

大口定期・スーパー定期（インターネット専用）円定期預金※1が
最大 年0.35％
税引後0.278％
キャンペーン期間 2022/10/4（火）～2022/12/30（金）定期預金作成分まで
※早期終了する可能性がございます。

新規/既存　大口定期・スーパー定期（インターネット専用）

	1年もの	2年もの	3年もの	5年もの
新規のお客さま	0.22%	0.27%	0.32%	0.35%
既存のお客さま	0.20%	0.25%	0.30%	0.35%

※金利は税引前の年利率です。利息には、「復興特別所得税」を含め、20.315％の源泉分離課税(国税15.315％、地方税5％)が適用されます。
2022年12月19日現在

ご新規のお客さま
モバイルアプリダウンロード
こちら▶▶▶

SBJ銀行 SHINHAN BANK JAPAN
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SBJ銀行は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

© 2022 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L634630　S/D·G

※1 SBJ銀行の円定期預金は、預金保険制度の対象となります。当行にお持ちの円預金等の残高を合算した元本1,000万円までと保険事故発生までの利息が保護されます。【キャンペーン対象等について】〇対象のお客さま＜ご新規のお客さま＞2022年10月4日（火）以降に「モバイルアプリ口座開設」または「WEBで口座開設」で当行に普通預金口座を新規開設された個人のお客さま（お申込みは18歳以上の方が対象となります。また、SBJダイレクトのご加入が必須となります。）店頭窓口での口座開設は本キャンペーンの対象外となりますのでご注意ください。＜すでに当行とお取引のあるお客さま＞2022年10月3日（月）時点で当行に預金口座をお持ちの個人のお客さま〇キャンペーン対象定期預金はSBJダイレクト（インターネットバンキング・スマートフォンバンキング）、モバイルアプリにてご開設ください。店頭での口座開設は、キャンペーン金利は適用されませんのでご注意ください。SBJダイレクト、モバイルアプリのご利用は、当行に普通預金口座をお持ちの18歳以上の方が対象となります。〇対象商品および預入金額＜スーパー定期預金（インターネット専用）＞1円以上1,000万円未満＜大口定期預金（インターネット専用）＞1,000万円以上〇本キャンペーン金利は当初預入時のみ適用致します。満期日以降は店頭表示利率を約定利率として適用します。〇原則として、定期預金の中途解約は致しません。やむをえず中途解約する場合は、当行所定の期日前解約利率を適用します。満期日を過ぎてから解約する際の満期日から解約日までの利率は、解約日の当行所定の普通預金金利を適用いたします。（自動継続を除く）。自動継続の場合、継続日における店頭表示利率を適用いたします。〇各商品の詳細は、当行ホームページまたは店頭の説明書にてご確認ください。〇上記期間内であっても、予告なく本キャンペーンは終了または内容を変更する場合がございます。最新の情報は当行ホームページでご確認ください。【2022年12月19日現在】

SBJ銀行 SHINHAN BANK JAPAN　お問い合わせ　0120-015-017　受付時間 平日9:00～18:00（土・日・祝・年末年始除く）　https://www.sbjbank.co.jp　SBJ銀行　検索

各種行事3年ぶり復活

今年も規模縮小の新年会

民団中央本部と東京本部は1月12日、東京都内のホテルで2022年中央新年会を開催した。コロナ禍が続く中、参加者は昨年に続き、通年の3分の1となる170人程度に規模を縮小した。メーン看板には「韓日友好」「次世代育成」との今年のテーマを掲げた。

日韓議員連盟をはじめ、日本の各政党議員と日韓親善協会の役員、韓国からは映像を通じて祝辞が寄せられ、韓日関係の改善とヘイトスピーチ根絶に努力していくことが表明された。

民団中央本部の呂健二団長は「今年も同胞の生活を守り、韓日友好をめざすことが一番だ」と強調、「昨年、民団が実施したワクチン職域接種では11カ国の在日外国人の方が訪れ、非常に喜ばれた。今後とも多文化共生を念頭に置いた活動も展開していきたい」と述べた。

成人式は各地で華やかに

東京本部と大使館共催の東京の成人式典

1月10日の「成人の日」を前後して、在日同胞の新成人を祝う式典が各地の民団主催で開催された。

東京本部と駐日韓国大使館が共催した9日の成人式典は韓国大使館本館ホールで行われ、都内各地から新成人39人が参加した。

主催者を代表して姜昌一大使は映像を通して「最近、全世界で韓流ブームが起き、文化先進国としての基盤を固めている。みなさんも民族とプライドを持ち、その文化を継承していく最も重要な一員として堂々と歩んでほしい」とエールを送った。

式典の最後には新成人に民団から高級ボールペンとデジタルフォトフレーム、大使館からは名刺ケースが贈られた。

東京のほか同胞多住地域の大阪の式典には、新成人60人が参加したが、全国ほとんどの地域では大阪同様、民団本部主催で新年会を兼ねての成人式が行われ、数多くの新成人が社会へと巣立っていった。

大統領選、在外投票

韓国の第20代大統領選挙の在外投票が2月23日から28日まで駐日韓国大使館をはじめ、10の公館などで実施された。

韓国大使館管内の第1投票所である韓国中央会館8階大ホールの投票所には、留学生を中心に都内の同胞が投票に訪れた。

姜昌一駐日大使は、民団中央本部3機関長らとともに、午前に投票を終えた後、本国メディアらとミニ会見した。「コロナ禍の中、日本でも厳しい状況が続くが、一人でも多くの在日同胞が貴重な1票を行使してほしい。特に3世、4世たちの次世代たちの積極参与をお願いしたい」と要望。追加投票所に多くの民団会館が利用されたことに対し「このような非常事態の中でも毎回、協力を惜しまない民団にはとても感謝している。」と述べた。

地方本部の3機関長就任要件緩和

民団の第76回定期中央委員会が3月29日、中央委員在籍194人のうち144人が出席した中、大阪韓国人会館で開かれた。

中央委員会では、2021年度の活動を総括するとともに、①組織基盤強化と同胞社会の和合②同胞の生活と権益を守る③次世代を育成する④韓日友好促進⑤母国との紐帯強化と韓半島の平和に寄与する――の5大重点方針を柱にした新年度活動方針案を原案通り採択した。

あわせて、民団構成員の国籍の多様化にともない、こうした状況に対応するため、日本国籍同胞も地方本部3機関長への就任を可能とする規約改正案を承認した。

各機関報告では議決機関報告と執行機関報告は承認されたが、監察機関報告については、否決され、一部修正を求める形となった。

16地方本部団長決まる

民団の地方大会・総会が4月30日までに16地方で開催された。新たに役員を選出した本部、役員は次の通り。

東京本部＝李壽源団長、議長に安容範氏、監察委員長に朴昭男氏選出。埼玉本部＝新団長に崔洛文氏。群馬本部＝新団長に趙武雄氏。新潟本部＝新たに議長張元博議長、朴浩昌監察委員長選出。北海道本部＝団長・朴耕氏成、議長・姜英彦氏、監察委員長・金南賢氏新たに選出。愛知本部＝新たに河隆實団長、蔡駿二議長、白慶欽監察委員長選出。広島本部＝団長に金基成氏、議長に成龍植氏、監察委員長に金昌年氏選出。福岡本部＝新たに団長・李鍾出氏、議長に姜昌求氏、監察委員長に李成鐘氏を選出。長崎本部＝団長に朴正煥氏選出、団長、監察委員長の2機関制に移行。

役員が再選された本部は以下の通り。茨城、長野、山形、和歌山。三重と岐阜本部は1年間限定で役員任期を延長することを決めた。

オリニ事業指導者研修

オリニ指導者研修では大阪本部考案のハングルカルタの指導も受けた

民団中央本部は6月25、26の両日、東京・港区の韓国中央会館で「オリニ事業促進セミナー」を開いた。長引くコロナ禍の影響で停滞しているオリニ事業の現状把握と再構築、および情報交換を目的に文教局が企画した。民団中央本部が主催した対面方式による「オリニ事業指導者研修」は90年代以来の開催だ。北海道・東北、近畿、四国の7地域から文教担当者、事務局長、支団長、青年会役員らが参加。各地の取り組みを共有し、支部、地方本部単位で今、何ができるのかを探った。

昨年10月のオンライン開催に次いで2回目。冒頭、オリニ事業が「在日同胞社会の明日を築くことにつながる」ことを再確認した。講義で鄭夢周副団長は「豊かな同胞社会は感性豊かな子供たちを育成するオリニ事業から生まれる」と述べた。

尹錫悦大統領就任　民団代表ら100人参加

尹錫悦第20代大統領の就任式が5月10日、ソウル汝矣島の国会議事堂前広場で行われた。尹大統領は就任演説で、韓国を自由民主主義と市場経済体制を基盤に、国民が真の主役である国として再建、国際社会で責任と役割を果たさなければならないと強調した。

最近の国際情勢と関連して、韓国を含む各国は今、気候変動、食糧・エネルギー危機、紛争の激化、低成長と大規模な失業、二極化の深化と社会的な葛藤などに陥っているとし、「その原因は反知性主義にある」と指摘、問題を解決していくためには、「自由」という普遍的価値の共有が重要であると訴えた。

就任式には国内外の賓客や国会・政府関係者、一般国民ら計4万1000人が出席した。日本からは民団代表ら100人余りが参席した。

就任した尹大統領は官邸を国防省に移し、青瓦台は74年ぶり市民に開放された。

市民に開放された青瓦台

尹徳敏新駐日大使が着任

民団中央本部を訪れ花束を受けとる尹大使

尹徳敏新駐日大使が7月16日、羽田空港に到着し、韓日取材陣と略式記者会見を開き、「尹錫悦大統領が昨日、一日も早く、韓日関係が最も良かった時期に改善するという強力なメッセージを私に要請した」と述べ、「駐日大使として最大の努力をする」と記者団に語った。

尹大使は「韓日両国は民主主義、人権などの多くの分野で価値観を共有しており、戦略的利益を共有する最も重要なパートナーだ」としながら、「信頼関係が傷ついてしまった現在の韓日関係を変えたい」と表明。

尹氏は韓日関係と北韓問題など外交安保分野を研究してきた学者。大統領選挙後、尹次期大統領の大統領選挙陣営独自のシンクタンクとも言える政策諮問団に参加し、外交安保公約の樹立にも関与した。

京都国際、2年連続甲子園出場

京都大会決勝で勝利し喜ぶ京都国際ナイン

京都国際高校（李隆男理事長、朴慶洙校長）は7月27日、第104回全国高校野球選手権の京都大会決勝で龍谷大平安に6対1で勝ちベスト4まで進出した昨年の大会に続き、2年連続で甲子園出場を決めた。春のセンバツ出場校にも選ばれたが、選手の新型コロナ感染のため開幕前日に辞退した無念を晴らした。（甲子園では1回戦で岩手県代表の一関学院と対戦、延長の末、5対6で敗れた）

韓国入国ビザに長蛇の列

韓国は新型コロナウイルスの影響で2年あまり前から中断していた、外国人観光客などを対象とする短期訪問ビザについて、6月1日から発給を再開した。

韓国法務部は、2020年4月から新型コロナウイルスの感染が懸念されるとして、この間は観光や会議の出席などを目的としたビザの発給を中断する一方、投資や貿易、人道目的などの訪問客に限って発給していた。これにより、すべての外国人が、観光目的などで渡航できるようになった。東京港区南麻布の韓国中央会館にある韓国大使館領事部にはビザを求める多くの人が訪れ、早朝から長蛇の列ができた。このため民団では8階大ホール、会議室などを待機室として一時提供した。

光復節式典「韓日の早期改善を」

第77周年光復節中央記念式典（民団中央本部主催、東京本部主管）が8月15日、東京都江戸川区の「江戸川区総合文化センター」で開催された。「コロナ第7波」を踏まえ、今年も規模を縮小し、参加対象を中央、東京本部の3機関、支部、中央傘下団体、韓人会の代表ら600人程度に制限した。

中央本部の呂健二団長は挨拶で「韓日関係の悪化は東アジアの安全保障とも密接に関連する問題。歴史認識問題に対する立場の違いを乗り越え、この間の相互不信を解き、一日も早い関係改善の道筋が開かれることを願ってやまない」と述べた。

さらに「次世代育成、組織の基盤強化、韓日関係の改善の3大重点課業を積極的に推進しよう」と呼びかけた。

韓信協、3年連続預金1兆円突破

韓信協（在日韓国人信用組合協会＝呉龍夫会長）の会員4組合と近畿産業信用組合の総代会が6月に終わった。各組合とも長引くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻などによる世界経済の影響を直視しながらも、地域の中小事業者に根ざした金融サービスで業績を残した。

韓信協がまとめた会員4組合の2021年度業績によると、4組合の総預金高は前年比695億7900万円増の1兆2532億3800万円とし、3年連続で1兆円を突破した。

貸出金は、732億1100万円増の9864億1400万円となっている。

次世代育成テーマに婦人会大研修会

関東Aブロックの研修会

関東Bブロックの懇親会

在日本大韓民国婦人会（劉代永中央本部会長）の2022年度全国大研修会が6月7日の近畿Aを皮切りに全国で連続的に開催された。

今年のテーマは「在日韓国女性の次世代育成と歴史を繋げよう未来に」。講師陣も様々なジャンルで活躍する在日同胞の著名人や大学の教員のほか、日本人人士に依頼した。また、各ブロックとも、懇親会には、みんだん生活相談センターの所長で昨年、歌手デビューした金昭夫さんを招いたミニコンサートを楽しんだ。

劉会長は開講式で「韓国では新政権が誕生し韓日関係改善へ期待が高まっている。私たち婦人会は以前にも増して地域社会と常に共生し草の根運動で韓日両国の懸け橋となり、民団と歩調をあわせ一体となって前進しましょう」と呼びかけた。

民団社会2022年

コロナの暗雲払いつつ

民団は3月の76回中央委員会で①民団社会強化と同胞社会の和合②同胞の生活と権益擁護③次世代育成④韓日友好促進⑤母国との紐帯強化と韓半島の平和に寄与――の5大重点方針を採択した。振り返れば、今年はコロナ禍のなか一部で活動を制限されながらも、重点方針の完遂に奮闘した1年だった。キーワードは「3年ぶり」だ。

民団中央本部主催の次世代イベント「文化探訪スクール」も3年ぶり。8月、広島で行われ、北は北海道、南は沖縄など全国から中・高校生49人が4日間、共に学び、語り合った。次世代育成は大学生でも。学生会の新企画「ライジング・スター・セミナー」は10月、民団中央文教局の支援のもとで開催された。

韓日・日韓議連の50周年記念合同総会も11月、ソウルで3年ぶりの開催。共同声明で両国の首脳会談及び高位級会談を早期に開催するよう促した。みんだん生活相談センターの本国セミナーも3年ぶりに実現した。

組織基盤強化に向けては民団奈良本部が11月、中央組織局の支援を受け、2日間かけて91世帯を家庭訪問した。コロナ禍の影響で行事の中止や延期が相次ぎ、団員との接点が減少していることから取り組んだ。奈良の家庭訪問は2年連続。さらに民団高知でも実施した。

本国では新たに尹錫悦大統領が就任し、韓日関係改善への期待が高まっている。民団は5月9日、ソウル市内のホテルで就任を祝賀する前夜祭を開いた。民団の祝賀団を代表して、呂健二団長が韓日関係の劇的改善に期待感を示した。

ヘイトスピーチ根絶に向けた反差別条例も三重県議会、愛知県議会で可決された。来年は相模原市での条例可決に期待がかかっている。

次世代文化探訪スクール

2022年 文化探訪スクール

在日同胞の中・高校生を対象に夏休みを活用して全国の同世代が連帯を広げる「2022文化探訪スクール」（民団主催、在外同胞財団後援）の中学生コース（8月17～20日）と高校生コース（8月20～23日）が広島で開催された。

北は北海道、南は沖縄など全国から参加した50人（中学31人、高校19人）は4日間、ともに学び、語り合いながら新たな絆を育んだ。

小学生時代にオリニジャンボリーに参加したメンバーも多くいて、再会を喜びあう場面も見られた。

3泊4日間、平和記念公園にある韓国人原爆犠牲者慰霊碑の参拝をはじめ、韓国原爆被害者対策特別委員会の権俊五副委員長から被爆証言を聞いたほか、県内にある朝鮮通信使ゆかりの地などを見学した。

また、韓国語基礎講座やグループ討論会、全体交流会などで親睦を深め合った。

韓日・日韓議連が合同総会

韓日・日韓議員連盟の50周年を記念する第43回合同総会が10月3日、ソウル市内で開催され、冷え込んだ韓日関係の改善に向けて、両国の議員が一層努力をしていく、とした共同声明を採択した。

両議連は共同声明で1998年の金大中・小渕「21世紀に向けた韓日パートナーシップ共同宣言」の精神に基づき、両国関係を早期に正常化させなければならないとの認識で一致したことを強調し、正常化のためには両国の首脳会談及び高位級会談を早期に開催するよう促した。

両議連は、歴史問題などで過去の関係がぎこちなかった点を認めるとともに、ニューヨークで開かれた韓日首脳会談などを両国関係改善の第一歩になるものと評価した。

韓日首脳が会談、関係改善で一致

国連総会出席のため米ニューヨークを訪問した尹錫烈大統領と岸田文雄日本首相による韓日首脳会談が9月21日、国連総会会場近くのあるカンファレンスビルで行われ、両国関係改善の必要性に共感したと、大統領室が発表した。

韓日首脳会談は2019年12月の中国での韓・日・中首脳会議時に、当時の文在寅大統領と安倍晋三首相が会談して以来、2年9カ月ぶり。

大統領室によると「両国首脳は懸案を解決して両国関係を改善する必要性に共感し、外交当局対話を加速化することにした」と明らかにした。

北韓の核問題では「最近の核兵器法制化、7回目の核実験の可能性など北朝鮮の核計画に対する深刻な憂慮を共有し、これに対応するために、国際社会と緊密に協力していこうということで意見が一致した」と付け加えた。

愛知韓学にコスモ保育園開園

学校法人愛知韓国学園が3年前から開園に向けて協議を重ねてきた念願の保育園事業である「コスモス保育園」が2月7日、学園1階に開園し、20日には開園セレモニーが行われた。

張永植理事長はじめ朴巨容校長、金建治同学園顧問や各理事、関係者ら30人が参加。朴先哲駐名古屋総領事、民団愛知本部の朴茂安団長、婦人会愛知本部の李玉順会長、愛知商銀の大原清二理事長もお祝いにかけつけた。

張理事長は「私たちには必ずや全日制を作るという思いがあり、今日はそのスタート。在日同胞社会にとって教育は大事であり、自然体で楽しい学園を作っていくと共に、お互い同じ思い、同じ方向で尽力していこう」と呼びかけた。

青年会45周年　長崎でＫＹＴ

Korean Youth Travel 2022
in NAGASAKI

在日韓国青年会（鄭昇栄中央本部会長）の結成45周年を記念し、「未来につながれ、韓国青年のキズナ」と題した、「コリアン・ユーストラベル2022（KYT）」が9月19日までの3日間、長崎県で開催された。

全国の青年が一堂に会する対面式のイベントは2019年にソウルと韓国各地方で開催した「ルーツを知る旅～故郷訪問団」以来、3年ぶり。フィールドワークや、講演会、晩餐企画、地方交流パーティーなどで連帯を広げた。

青年会では非会員や日本国籍同胞にも青年会の存在をアナウンスし、新規会員の発掘と定着を図ることを目的に、定期的に母国訪問などの全国イベントを開催してきたが、コロナの関係でこの2年間、開催を見送っていた。

4月の中央大会で国内での「KYT」開催を決定し8月に参加募集を開始したところ、待ちわびていたかのように締切り前に定員を大幅オーバーした。

ライジング・スター・セミナー

在日同胞大学生を対象とした「ライジング・スター・セミナー」が10月8日から3日間、都内のホテルなどで開催された。民団中央本部による次世代育成事業の一環。

在日本大韓民国学生会（関秀智会長）が夏のコリアン・スチューデント・ジャンボリー（略称KSJ）に代わる全国行事として、文教局と一体となって企画した。

学生会本部を置く大阪、愛知はじめ宮城、秋田、郡馬、兵庫、京都、福岡、大分、鹿児島など全国から60人余りが参加。

初日は在日韓人歴史資料館の李成市館長（早稲田大学文学学術院教授）が「世界史の中の韓国史・韓国文化」と題して講演。2日目は「在日史」について勉強し、午後は野外運動会で汗を流した。最終日は韓行伸氏（ウィズ・コミュニケーション代表取締役）による就活セミナーに臨んだ。

グローバルコリアンめざす

第16회 세계한인의 날 기념식

海外同胞のリーダーたちが一堂に会して、韓民族共同体の繁栄を議論する「2022年世界韓人会長大会」が10月7日までの3日間、仁川市の松島コンベンシアで開催された。4日行われた第2次運営委員会で、来年次期共同議長に民団中央本部の呂健二団長と、アメリカ韓人会総連合会の金ピョンジク総会長が選出され、第1次運営委員会を4月、日本で開催することを決定した。

今年は韓国人移住120周年。韓国人の海外移住の最初の出発地だった仁川市と在外同胞財団が共同主管した。

各国の韓人会長と役員ら64カ国333人（オフライン260人、オンライン73人）が参加した。日本からは呂健二中央本部団長をはじめとする民団から16人のほか、韓人会から6人が現地入りした。

国連日本審査で地方参政権訴え

民団中央本部人権擁護委員会（李根茁委員長）は、10月13、14の両日、スイスのジュネーブで開催された国連自由権規約委員会日本審査に、当事者として同委員会に正しい情報を提供するために李委員長、趙學植委員、民団中央生活局の司空明埈主任の3人を派遣した。

民団は永住外国人の地方参政権問題をはじめ、▽民族的または種族的マイノリティとしての権利の否定▽包括的な差別禁止法の不在▽公務就任権の過剰な制限▽ヘイトスピーチおよびヘイトクライム▽関東大震災朝鮮人虐殺を否定する言説のまん延と政治家の言説助長――の6項目にわたる日本政府への提言を提出した。

国連自由権規約委員会の日本審査は、2020年に開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で2年間延期となり、日本審査は8年ぶり。民団・人権擁護委員会の派遣も8年ぶりとなった。

人権セミナー「虐殺の先頭に警察」

第4回 人権セミナー
～関東大震災朝鮮人虐殺から99年目の今～
「誰が、『それ』をしたのか！
誰が、《それ》をしないのか
殷勇基

関東大震災から今年で99年目。12月4日、東京・港区の韓国中央会館で開かれた「第4回人権セミナー」で、元教員の山本すみ子さんが横浜での朝鮮人虐殺について戒厳令下、警察が先頭に立ったとする研究成果を発表した。治安対策にあたるべき官憲自ら流言を発信拡散し、さらに自警団を組織したと指摘。虐殺はなかったとする歴史修正主義の流れに一石を投じた。

同セミナーは民団中央本部人権擁護委員会（李根茁委員長）と在日韓国人法曹フォーラム（殷勇基会長）が共催。関東大震災の流言蜚語により虐殺された人々を追悼するとともに、その事実を隠ぺいしようとする歴史修正主義の正体を検証する目的で毎年開催している。民団中央本部からは呂健二団長が参席した。

民団奈良、2年連続家庭訪問

在日韓国民団奈良県北葛支部

民団奈良本部（李勲団長）は11月5～6の両日、「ネットワークを作ろう！奈良県本部家庭訪問活動」を実施した。

昨年に次いで2回目となる団員同胞世帯への訪問活動は、団員と同胞たちの把握と併せて、疎遠な団員と顔を合わせることで接点強化を図ることを目的としており、2日間で91世帯を訪問して、65世帯との面談が実現した。

活動者は民団オリジナルのジャンパーを着用し、1組3～4人、4～5チームに分かれて訪問活動を続けた。

中央本部組織局からも応援にかけつけ、奈良本部の三機関役員はじめ各支部支団長や婦人会本部支部の他、地元婦人会常任顧問の劉代永婦人会中央会長も加勢し本部、支部、婦人会の幹部合わせて総勢17人で団員宅を訪問した。

北韓の「北送」欺まん性認定判決

3.23東京地裁北朝鮮帰国事業裁判判決公判
北朝鮮政府（金正恩）は誘拐、抑圧・覇乏支配、そして出国妨害で生じた人生の被害を償え！
「地上の楽園」は真っ赤なウソだった。
すべての被害者救済への道を開こう！

北韓政府による北送責任を問う訴訟の判決言い渡しが3月23日、東京地裁であった。五十嵐章裕裁判長は「虚偽の宣伝で渡北させたのは不法行為」と、原告側の主張をほぼ認めた。

ただし、朝鮮総連を使っての勧誘行為に乗って北に渡ってから46～58年、脱北して日本に戻ってから提訴までに13～17年かかっていることから、すでに除斥期間を経過しているとして、損害賠償の訴えそのものは却下した。

同裁判では元在日同胞と日本人妻の脱北者5人が各1億円の損害賠償を求めていた。

5人は1960年から72年に北に渡り、01年以降に脱北し、日本へ入国した。訴状によれば、原告側は事実と異なる北韓の宣伝勧誘と北韓からの出国妨害行為を一体のものとしてとらえ、こうした人権侵害は北韓を脱出した時点まで続いていたと主張してきた。

梨泰院惨事、民団が献花台

献花台で犠牲者の冥福を祈る
山口公明党代表

ソウルの梨泰院で150人以上が亡くなった事故から3日たった10月1日、民団中央本部は東京都港区の韓国中央会館に犠牲者を追悼する献花台を設けた。

誰でも献花できるように麻布通りに面する形で設けられた献花台には、韓国大使館領事部の訪問客だけではなく近隣の住民も多数訪れ、花を供えながら犠牲者の冥福を祈った。

2日の午後には尹徳敏駐日韓国大使や公明党の山口那津男代表、立憲民主党の源馬謙太郎議員らが献花台を訪れて、献花した。

尹大使は「事故現場がドラマ『梨泰院クラス』の大ヒットの影響で世界中から若者が集まる観光名所であり、コロナ対策のマスク着用義務が解除されたことで日本人を含む多くの外国の方々が現場に集まっていた。悲惨な事故の犠牲になり非常に残念に思う」と述べた。

韓国国体　海外の部で準優勝

第103回韓国国体蔚山大会が10月13日までの7日間、蔚山市一円で行われ、在日同胞選手団（孫栄泰選手団長）はサッカー、ボウリング、テニス、テコンド、卓球、スカッシュ、剣道の海外同胞部門7種目のほか、国内種目の柔道、水泳、陸上、ラグビー（体験参加）に出場した。コロナの関係で海外同胞も参加した正常大会は3年ぶり。

在日同胞は9月21日から25日まで事前に開催された柔道で高校女子52キロ級の許湖音（埼玉栄高校3年）が優勝したほか、男子一般と大学で銅メダルを獲得、この勢いに乗って競技に入ってからも次々にメダルを獲得、最終的に金7、銀6、銅6個の合計19個のメダルを獲得した。

その結果、18カ国の海外同胞で競う「海外同胞の部」の総合で準優勝となった。

キムジャンイベント楽しむ

中央本部文教局主催の家族で楽しめるキムジャンイベントが12月11日韓国中央会館で開催された。

講師を務めたのは料理研究家の崔誠恩さん。初めてキムチ作りに挑戦する親子や普段でも自宅でキムチを漬けている参加者も崔さんのおいしいキムチ作りの説明にメモしながらおいしい作り方のコツを学んだ。

愛知から参加した趙鐵男さん一家は「子どもと一緒に韓国文化を楽しく体験できてうれしい。コロナでオリニジャンボリーが中止になり残念だが、貴重な機会を用意してもらって感謝」と語った。

冬の思い出づくり
各地でオリニクリスマス

クリスマスを前にオリニの冬季交流会が各地で行われた。冬季交流会は夏のキャンプで出会った友だちと再会し、一緒になって新たな思い出を心に刻む場だ。主催者が工夫を凝らしたゲームに興じ、サンタさんからのプレゼントに歓声を上げた。コロナ禍のなか、宮城と長野は3年ぶりの対面開催となった。

オリニたちの歓声が続いたじゃんけん大会（東京・荒川支部）

民団宮城本部で

3年ぶり対面で

【宮城】宮城韓国会館に3日、オリニたちの笑顔が戻ってきた。対面でのクリスマス会は3年ぶり。保護者とともに70人が集まった。サンタに扮した李純午民団宮城本部団長、姜愛花青年会宮城本部会長、高承天仙台韓国教育院長が出迎えた。

会を主管した姜青年会長は「たくさん遊んで、たくさんのプレゼントをもらって帰ってくださいね。みんな仲良くお友達になってください」と呼びかけた。

オリニたちは「ジェスチャーゲーム」や「風切りゲーム」に夢中。主催の民団宮城本部は今夏のキャンプなど2022年のオリニ事業をまとめた映像を上映し、1年を一緒になって振り返った。

【長野】民団長野本部（金龍洙団長）は17日、同本部で長野韓国青年商工会（呉幸浩会長）と共催。昨年と一昨年はコロナ禍のためプレゼントを贈ることしかできなかった。対面は3年ぶり。

オリニ25人が参加した。みんなでゲームを楽しみ、プレゼント交換を行った。

青年会が運営

【東京】民団東京・荒川支部（鄭在桓支団長）はオリニ冬季交流会を17日、同支部会館で開催した。今年も青年会荒川支部（郭玹瑀会長）が運営。オリニと保護者合わせて30人余りが支部会館を埋めた。

鄭支団長は「きょうは青年会のお兄さんとお姉さんが楽しい企画とプレゼントを用意してます。たっぷり楽しんでください」とあいさつ。

ビンゴゲームを通じてオリニ全員がおもちゃや文房具などのプレゼントを手にした。この後、じゃんけん大会と続き、会場では最後までオリニたちの歓声が続いた。

【神奈川】民団神奈川本部（李順載団長）のオリニクリスマス行事は10日、横浜市内の神奈川韓国会館で再建中の青年会神奈川本部が企画・運営を担った。

オリニ50人以上が参加。全員サンタ服を着用してハングルビンゴなど民俗色豊かなゲームを楽しんだ。

昼食は婦人会神奈川本部が準備。プレゼントは駐横浜韓国総領事館が協力した。

韓国学園から

【埼玉】民団埼玉本部（崔洛文団長）の「埼玉同胞オリニ冬季交流会」には10日、県内4つの韓国学園からオリニと保護者60人が参加した。

景民杓同本部常任顧問が「メリークリスマス」と呼びかけると全員でクラッカーを打ちならし、ノンアルコールのシャンパンで乾杯した。

スポンジケーキに生クリームとチョコレート、いちごなどをあしらい、デコレーションづくり。完成すると、保護者が記念の写真をスマホに収めていた。オリニたちはビンゴゲームで手に入れたお気に入りのプレゼントも持ち帰った。

【広島】広島オリニ韓国学園（権五俊理事長）は3日、広島市内の広電ボウルで1年を締めくくる集い「冬季モイム」を開催した。

オリニ20人がボウリングを楽しんだ。大会後、権理事長と広島韓国教育院の崔元範院長がクリスマスのお菓子をプレゼントした。

交流会では保護者も交えて1年間の活動を振り返り、来年度の計画について意見交換した。

国籍、民族超え

【鳥取】民団鳥取本部（黄龍也団長）はオリニと保護者ら50人余りが民族や国籍を超えて一緒になって楽しむクリスマス会となった。10日、県福祉人材研修センターを会場にオリニたちは手製のケーキづくりに夢中。保護者は厨房で韓国料理教室に臨んだ。さらに、餅つきも同時に行われた。

食卓には保護者がたんせいを込めたユッケジャン、ゆで豚、キムチなどが並んだ。オリニは自らつくったケーキがデザートがわり。食後には韓国語を含むクリスマスソングなど3曲を合唱した。

飲食ブース2倍増に
「栃木韓流フェスタ」盛況

早々に完売した婦人会栃木のブース

【栃木】「栃木韓流フェスティバル2022」（民団栃木本部主催、同実行委員会運営）が11日、宇都宮市中心部の市民ふれあい広場「オリオンスクエア」で開催された。

今年は韓国をはじめ日本、台湾、トルコなどアジア各国のソウルフードが楽しめる飲食ブースが昨年比2倍に増え、充実した。

冒頭、主催者を代表して陳賢徳団長が「日本と韓国の両国がより一層緊密に交流することを願っている」と企画趣旨を説明し、観客から拍手を浴びた。

ステージは宇都宮フレックスチアリーダー「BREXY」が登場して幕開け。会場と一体になったチア・パフォーマンスを楽しんだ。じゃんけん大会では勝ち抜いた観客にぬいぐるみなどの賞品が贈られた。

主役の6人組JポップボーイズグループD.O.Lがステージに立つと、最前列に陣取った若い女性たちが歓声をあげた。

最後は韓国の多国籍6人組女性グループ「BEAUTYBOX」が締めくくりの舞台を務めた。

会場の一角では男性を含む先着20人が本場のキムチづくりを体験。できあがりを試食し、できばえに満足していた。

会場に出展した婦人会栃木本部（朴順和会長）はチヂミと群馬県産ブランド豚肉を使った焼肉を早々に完売した。

高校生韓国語スピーチ大会
神戸教育院で授賞式

【兵庫】神戸韓国教育院（魯解斗院長）は「高校生韓国語スピーチ大会」授賞式を11月30日、兵庫韓国文化教育院で開催した。22回目。

魯院長は「スピーチ大会が韓日両国の友好善隣の面で確固たる位置づけができる心強い懸け橋の役割を果たす意義深い行事になることを願う」と期待を込めた。

今年も新型コロナウィルス感染予防のためスピーチは動画で行い、昨年を上回る13校21人が日ごろの学習成果を発表した。大賞は「私の部活」をテーマに発表した武谷和音さん（兵庫県立長田高等学校）。副賞としてジンエア航空会社の韓国往復無料チケットが贈られた。

「ねんりんピック」優勝
権五美さん　ゴルフ交流戦「個人」

権五美さん

【神奈川】「第34回全国健康福祉祭　神奈川・横浜・川崎・相模原大会」（ねんりんピックかながわ2022、厚生労働省ほか主催、11月12～15日）に出場した権五美さん（79、民団広島本部経済顧問・広島韓国商工会議所副会長）がゴルフ交流戦で優勝した。権さんの所属する広島市チームは団体戦で「優秀賞」だった。

全国健康福祉祭は主に60歳以上の高齢者を対象に各県持ち回りで開催されている。神奈川では初めて。権さんは70歳以上のアマチュアゴルファー日本一を決める2017年度日本グランドシニアゴルフ選手権でも日本タイトルを獲得した。

ボランティアで福祉施設を慰問
歌手の金昭夫さん

【栃木】「みんだん生活相談センター」所長で、異色の演歌歌手としても知られる金昭夫さんが6日、小山市内にある通所介護事業所「スーパーデイみらい」を慰問した。

同通所介護事業所を運営する社会福祉法人愛和会の森誠理事長は金さんと旧知の間柄。金さんが昨年、日本コロンビアから歌手デビューしたことを知り、ボランティアを要請したもの。

金さんはデビュー曲の「新宿しぐれ」をはじめ、「夫婦春秋」、「二輪草」などを披露。終始笑顔で60人の利用者と交流した＝**写真**。

また、19日には東京都内のホテルで単独ディナーショーを開催。約200人が有料チケットを手に観覧した。民団関係者のほか、韓国慶南科学技術大学から金南京総長も参席。

「BTSの国、韓国についてもっと知りたい」
民団長野本部　県立高校で初の課外講演

【長野】「BTSの国、韓国についてもっと知りたい」。松本市内の長野県松本美須々ケ丘高等学校の希望に応え、民団長野本部（金龍洙団長）の金恵慶事務局長が2日、放課後に1時間の課外活動を行った＝**写真**。同本部によれば、公立高校からの講演依頼は初めてとのこと。

金局長は最近、若者に人気のある韓国の文化について概略を解説し、その文化をつくり、消費している韓国人の特徴について言及した。音楽ではBTSのヒーリングソング「マイクロコスモス」を聞きながら歌詞の意味を説明。BTSで話題となった韓国の兵役制度に及ぶと、入隊初日の青年たちの生活ぶりについて映像で紹介した。

教職員からは「歴史の話も」との要望が出た。金局長は在日韓国人、中国の朝鮮族、中央アジアの高麗人の成り立ちについて語った。

講演には参加を希望した学生15人のほか、民団に講義を依頼した担当の服部晃一教諭（探求指導部・地歴公民科）と志津亨校長も同席し、最後まで耳を傾けた。参加者には民団長野本部手作りのチャプチェと菓子をお土産にプレゼントした。

川崎市「人権条例」運用の改善求める
制定から3年　市民団体会見

【神奈川】「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定から12月で満3周年。違反者に日本で初めての行政刑罰を科したことで「殺せ！」「死ね！」といったあからさまな路上のヘイトスピーチは姿を消した。いまや差別をなくす条例制定に取り組む全国の人たちのモデルとさえなっている。

一方、課題も見えてきた。市が条例運用に慎重なため、ネット差別で心の傷を負った被害者の救済が迅速に進んでいないことだ。これは市からの諮問と「審査会」の公表がセットになった17条がネックとなっているとしており、運用の改善を求めている。

「ヘイトスピーチを許さない」かわさき市民ネットワークは8日、川崎市教育文化会館で会見。17条の実効性ある運用へ向け、ネットモニタリング制度を活用した削除要請の推進と、人種差別撤廃問題の専門家による条例担当者をはじめとする職員への研修の実施を市に求めるコメントを発表した。

今後、全会派の議員と個別に面談し、施策のさらなる充実を呼びかけていく。また、「いま一度、川崎市の背中を押してもらう」ため、請願・陳情も考えているという。

師岡康子弁護士は「公的機関による削除要請は確かに効果がある。ヘイト被害撲滅へ条例で大きく前進したといえる。今後とも市民の応援、バックアップが必要」と呼びかけている。

スポーツで青少年育成
体育会中北　創立60周年式典開く

【愛知】在日本大韓体育会中北本部（南茂会長）の創立60周年記念式典が17日、名古屋市内のホテルで開催された。

南会長は「青少年育成、在日同胞の親睦と和合を目的に発足し、半世紀に渡りスポーツを通じて次世代育成と在日の発展に尽力してきた。これからも皆さんの理解と協力は不可欠。長い歴史と伝統を引き継ぎ、益々の発展を願い尽力していこう」と呼びかけた。

在日本大韓体育会の朴相泓専務理事は「長い歴史の中で培われた伝統を引き継ぎ、新たな時代に向けて変革する中北本部になることを願っている」とした崔相英会長の祝辞を代読した。

民団愛知本部の河隆實団長は「時代にあった種目にトライし、ルールの大切さを青年たちにつなげるなど、これからも良い活動ができることを見守っている」と激励した。

駐名古屋総領事館の金承煥領事も「今日は60年を振り返り、これからの新しい目標を考える時間になることと思う」と期待を寄せた。

同本部の前身は1962年創立の愛知県韓国人体育会。野球、柔道、卓球などの各部を設けて活動し、74年に現在の名称に変更した。

本大韓体育会中北本部　創立60周年記念
2022年12
在日本大韓体育会中北本部
表彰を受けた体育会中北本部の顧問たち

新会長に田中和徳衆院議員
川崎市日韓協

あいさつする新会長の田中和徳衆院議員

【神奈川】川崎市日韓親善協会（斎藤文夫会長、元参議院議員）の第47回総会が17日に川崎市内の中華レストランで開催され、田中和徳衆議院議員（前復興大臣）が新会長に就任した。

総会はコロナ禍のため3年ぶり。民団川崎支部の金昌奎支団長、同南武支部の金竜也支団長、婦人会川崎支部の金京美会長をはじめ40余人が参加。民団神奈川県本部の李順載団長、駐横浜総領事館の全柄閏領事が来賓として参席した。

田中新会長は「日韓両国は隣国同士。意見の違いがあってもお互いに交流・理解を深め、新時代を構築していかなければならない。ここ川崎の地においてお互いに住民として親善・友好を深めてきた。今後さらなる発展へ、新しい人の参加を促していきたい」と決意を表明した。

韓国語受講生と「文化体験教室」
民団石川青壮年会

【石川】民団石川本部（朴賢沢団長）傘下の青壮年会（董又碩会長）は10日、同本部の韓国語受講生たちに呼びかけ、野々市市内の学習施設で「韓国文化体験教室」を開催した。

1部は青壮年会のメンバーで構成したアーコースティックバンド「韓バンド（韓半島）」によるミニコンサート。2部は鍋料理プデチゲやポッサムをつくる料理教室だった。青壮年会は韓半島にルーツを持つ18～49歳の次世代で構成している。毎月様々なテーマで「サランバン」交流会を続けている。

税務講演会開く
民団岐阜初の試み

【岐阜】民団岐阜本部（董勝正団長）は9日、岐阜市内のホテルで「税務・法律支援講演会&相談会」を開催した。韓商が休眠中の同本部としては初の試み。愛知韓商の柳和明会長の仲介で実現した。

名古屋国税局OBでもある横井勇二、奥田光広両税理士が講演のなかで、来年10月からスタートするインボイス制度についても触れた。董団長は「何か相談があれば気楽に民団岐阜、あるいは愛知韓商へ相談を」と呼びかけた。

民団奈良が研修
鄭夢周副団長講師に

【奈良】民団奈良本部（李勲団長）は10日、奈良韓国人会館に民団中央本部の鄭夢周副団長を迎え、「下半期幹部研修会」を開催した。

鄭副団長は、来年はコロナを注視しながらも活動を正常化させる年だと述べ、「傷ついた共感と信頼を回復させることが大事。同胞の絆を回復する努力をしていかなければならない」と強調した。

参加者からは「参考になった」という声が聞かれた。

京都国際学園野球部、たくさんのご支援ありがとうございました！

第104回 全国高等学校野球選手権大会寄付者一覧（敬称略、順不同）

田中綾華
長見勝久
八次呂
松下恵富
新京都パトロール
オオイシノサト　タナカ
朴達成
BAMBINI
ナカムラケンジ
李昇
西田貴誉美
柴田英夫
大坪文呼喜
堀田泰史
横田良秋
伊藤暢章
笠井蓮太郎
藤友商事
エムアールアイ
崔在鶴
平田建設
西山工業
平山隆二
呂健二
民団岩手県本部
朴明子
金分一郎
諸宗治
金幸雄
高山貴一
京都建築事務所
姜大折
高山環
イーエム金属
広島韓国教育院
西面宜之
ヤングスチール
白井幸恵
婦人会中央本部
民団東京本部執行機関
民団東京本部議決機関
民団東京本部監察機関
民団東京足立支部
民団東京荒川支部
民団東京板橋支部
民団東京江戸川支部
民団東京大田支部
民団東京葛飾支部
民団東京北支部
民団東京江東支部
民団東京品川支部
民団東京渋谷支部
民団東京新宿支部
民団東京杉並支部
民団東京墨田支部
民団東京世田谷支部
民団東京台東支部
民団東京豊島支部
民団東京中野支部
民団東京練馬支部
民団東京文京支部
民団東京港支部
民団東京目黒支部
大韓婦人会東京本部
東京韓商
韓国青年会東京本部
大韓体育会関東本部
京都通信特機
八千代病院
中尾慎
夏山
文英一
京都府高等学校野球連盟
黄完奎
京都私学振興会
中川英和
姜永子
金大順
林茂樹
長治林業
柴田
愛知県韓国人経友会
山村南旭
金周明
金光一
婦人会大阪府本部　役員一同
[illegible]

제주4·3사건 희생자 보상금
2차 대상자 신청 및 지급 안내

■ 희생자의 사실상의 자녀가 있는 경우
– 가족관계등록부의 정정 시점 또는 마지막 신청기간(6차)에 신청함.
■ 제적부 · 가족관계등록부가 없는 희생자 840명
– 8차 추가신고기간('23. 1. 1. ~ 6. 30.) 경과 이후, 유족 결정 후 신청

보상금액 ■ 사망 · 행방불명자 : 9천만원
■ 수형인 : 구금일수를 고려하여 위원회가 결정한 금액(9천만원 이하)
수형 / 구금 : 형사보상 1일최고액 x 수형(구금)일수 + 위자료(2천만원)
집행유예(금고 이상) : 4,5천만원　벌금형 : 3천만원
■ 후유장애인(장애등급 구분) : 1~3등급 9천만원 / 4~8등급 7,5천만원 / 9~14등급 5천만원

보상금 신청 및 지급 절차
Ⅰ.보상금 신청 (신청인 → 도·행정시·읍면동) → 제주4·3위원회 심의 (실무위원회 및 중앙위원회) → 결정서 정본 및 통지서 송달 (제주도 → 신청인) → Ⅱ.보상금 청구 (청구인 → 도·행정시·읍면동) → 보상금 지급 (제주도 → 청구인)
※ 보상금 신청하지 않은 상속인(유보대상자)에게는 보상금 결정서 미발송

Ⅰ. 보상금 신청
신청대상 ■ 생존 희생자 : 본인　■ 사망 또는 행방불명 희생자 : 민법상 상속권자
신청기간 2022. 6. 1 ~ 2025. 5. 31 ▶ 4·3중앙위 결정 신청순서에 의거 신청

구분	2022년 1차	2023년 2차	3차	2024년 4차	5차	2025년 6차
기간	2022. 6. 1 ~ 2022. 12. 31	2023. 1. 1 ~ 2023. 6. 30	2023. 7. 1 ~ 2023. 12. 31	2024. 1. 1 ~ 2024. 6. 30	2024. 7. 1 ~ 2024. 12. 31	2025. 1. 1 ~ 2025. 5. 31
인원	2,117명	2,500명	2,500명	2,500명	2,500명	1,703명 + α

Ⅱ. 보상금 청구
청구대상 ■ 제주4·3위원회의 심의·의결 결과 결정서 정본 및 통지서 송달받은 사람 (보상금 지급 결정 신청하지 않은 상속인(유보대상자) 포함)
청구기한 ■ 보상금 지급 결정 정본을 송달받은 날부터 3년 이내

신청 및 청구서류 등 자세한 내용은 홈페이지를 참고해주세요!
4·3종합정보시스템 https://peace43.jeju.go.kr 에서 신청순서, 신청서식, 진행상황을 확인하세요!
문의처: 제주도 4·3지원과 [보상지원팀]
☎ +82-64-710-8450, 710-8941~6
63122 제주시 문연로 6(연동) 제주도청 4·3지원과 [보상지원팀]